

福祉・介護の仕事について情報発信しています!

大分県 福祉人材センターの ホームページを ご活用ください

たとえば…

- 福祉の仕事や資格について調べたい!
- 介護に関する研修やセミナーの情報が知りたい!
- 就職フェアや最新の求人情報について知りたい!



下記のQRコードを読み込むか、
<https://oita-fjc.jp>
 を入力してサイトへ
 アクセスしてください。



福祉・介護の仕事や資格についてお気軽にご相談ください

大分県福祉人材センター

お問い合わせ

〒870-0161 大分市明野東3-4-1 大分県社会福祉介護研修センター内
TEL: 097-552-7000 (直通) FAX: 097-552-7002

教えて!

介護の お仕事

介護の仕事
とは?
P1

どんな人たちが
働いているの?
P3

ノーリフティング
ケアってなに?
P5

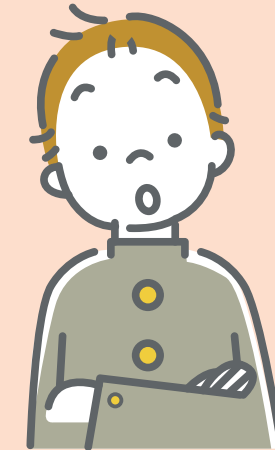
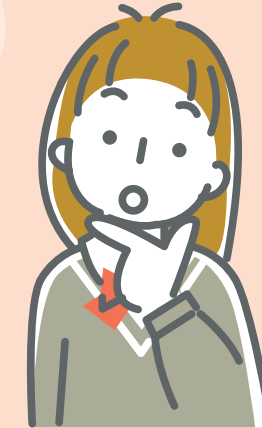
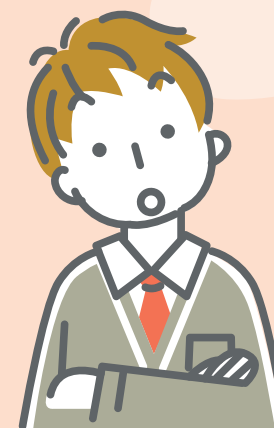
介護の仕事に
就くルートが
知りたい
P8・9

どんなところで
働いているの?
P2

介護施設の一日が
知りたい
P5

介護職の先輩の
話が聞きたい
P7

養成校の先輩の
話が聞きたい
P10



大分県福祉人材センター

介護の仕事とは？

介護とは高齢や障がい、病気などによって日常生活を送るのが困難な方に対して、食事や入浴、排せつなど身のまわりの介助をはじめとした生活全般のサポートを行うことです。

介護を仕事とする介護職員は、専門的な知識・技術を活かして、一人ひとりの心身の状況に応じた介護を行い、自立した生活が送れるよう支援します。介護をする中で積極的にコミュニケーションをとり、心や体の健康にも気を配ります。また、利用者本人だけでなく家族の相談に乗ったり、要望などを聞いたりして、得た情報をよりよい介護のために役立てます。

その人らしい生活を送るためにも、また、今ある体の機能を維持・改善するためにも、本人ができることは自分でできるように促し、できないことはできるように手助けをします。一人ひとりの気持ち、意思を尊重しながら、ご本人がもっている力を活かしてサポートします。

介護職員の主な仕事

入浴の介助



食事の介助



排せつの介助



着替えの介助



家事の援助



移動の介助



レクリエーション



相談

日常生活のサポートだけでなく、ゲームや歌などのレクリエーションや季節行事、クラブ活動といった生きがい活動への援助、家族の相談に対してアドバイスを行うなど、介護の仕事内容は多岐にわたります。

どんなところで働いているの？

介護を必要とする方は、自宅で生活を続ける人、施設へ入所する人、日中だけ施設を利用する人など様々です。そうした利用者の方の状況に合わせて、多くの種類の介護サービスがあります。

介護サービスを提供する施設（事業所）は大きく分けると「**入所型**」「**通所型**」「**訪問型**」があり、それぞれの場所で介護職員が活躍しています。

介護職員の働く場所

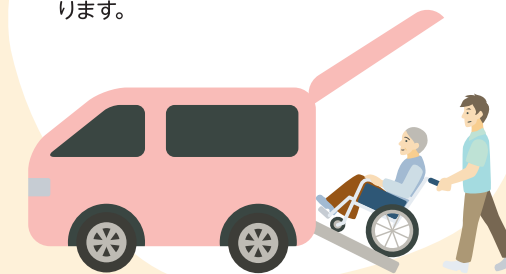
入所型（特別養護老人ホームなど）

自分の家で生活することが難しくなった高齢者などが入所して生活する施設。食事や入浴、排せつなどの介助、健康管理や機能訓練（リハビリ）などを行い、24時間365日入所者の生活をサポートします。



通所型（デイサービスなど）

自宅で生活する高齢者などが日帰りで利用する施設。食事や入浴、排せつなどの介助、健康管理、機能訓練（リハビリ）などを行います。一緒に暮らす家族の負担を軽減する目的もあります。



訪問型（訪問介護事業所など）

高齢者などの家を訪問し、食事や入浴、排せつなどの介助や、掃除や洗濯などの生活全般の援助を行います。住み慣れた家での自分らしい暮らしが続けられるようにサポートします。



※他にも、障がい者施設や医療施設など、介護職員が活躍する場所はたくさんあります。

どんな働き方があるの？

交替制の勤務で夜勤勤務のあるところ、ほとんど日中勤務だけのところ、短時間勤務のところなどがあり、ライフスタイルや適性などに合わせて、働き方を選択することができます。環境の変化などに合わせて、働き方を変えていくことも可能です。

どんな人たちが働いているの？

介護施設には様々な職種の人が働いています。それぞれの専門分野の知識・技術を活かして、チームとなって利用者の日常生活を支えています。

様々な分野のプロが連携し、チームで支えています

介護職員

看護職員

リハビリ関係職員

相談職員

事務職員

栄養士調理員

など



リハビリ関係職員
・理学療法士
・作業療法士 など

このほかにも…
栄養士・調理員
施設長 など

介護職員

利用者への直接的な介護を行い、日常生活をサポートします。介護施設での中心的な役割を担っており、利用者にとって身近な存在です。



看護職員

日常的な健康管理（体温・血圧などのチェックや健康観察など）を中心に、飲み薬の管理、褥瘡（床ずれ）の予防や処置、医師との連携などを行い、医療面から利用者をサポートします。



相談職員

生活相談員

利用者本人や家族の相談に乗ったり、利用者一人ひとりの援助内容について計画を立てたりするほか、様々な職種や関係機関（病院など）と連絡調整を行います。

介護支援専門員（ケアマネジャー）

利用者や家族からの相談に応じ、適切に介護サービスが利用できるよう、介護計画（ケアプラン）を作成します。



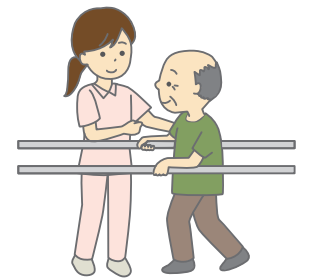
リハビリ関係職員

理学療法士

運動療法や物理療法（マッサージ、電気治療など）を用いて、歩く、立つ、座るなどの基本的な動作のリハビリを行います。

作業療法士

工作や手芸、家事、遊びなどの作業を通して、利用者が希望する生活ができるよう、リハビリを行います。



栄養士・調理員

利用者の体の状態に合わせて、食事を通して生活をサポートします。栄養士は栄養バランスのよい献立の作成や栄養指導を通じて、利用者の健康維持や増進、病気の予防を図ります。調理員は献立に基づき食事を作ります。



事務職員

施設を運営していくために必要な事務作業を行う仕事です。介護報酬の請求業務を中心に、窓口業務や電話対応、書類の作成や送付、施設内の設備の管理などを行います。

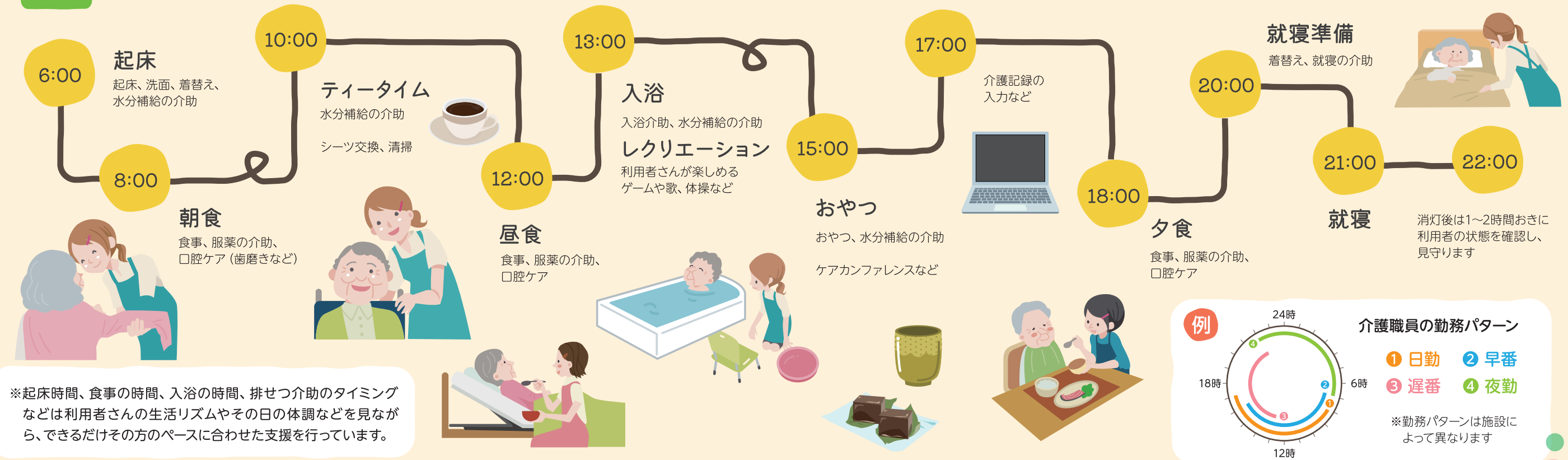
施設長

施設の長として責任をもって介護施設の運営・管理をする仕事です。施設の理念や目標の実現・達成を進めるうえでリーダーシップをとる、いわば施設の舵取り役です。

介護施設の一日(ある特別養護老人ホームの場合)

例

特別養護老人ホームなど入所型の介護施設は、高齢者の暮らしの場。介護職員は交替で仕事にあたり、24時間365日、高齢者の暮らしを支えています。



新しい
介護のしかた

ノーリフティングケアとは?

社会福祉法人 大翔会
特別養護老人ホームGreenガーデン南大分
ノーリフトケアコーディネーター 田崎 真一さん



ノーリフティングケアとは、介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアです。ノーリフティングケアの考え方は1998年にオーストラリアで始まり、現在日本でも取り組みが広がってきています。

ノーリフティングケアを取り入れてよかったことを教えてください。

私たちの施設では7年前からノーリフティングケアの取り組みを始めていて、生活全般でこの介助場面でも、基本的に職員が抱え上げるような動作が必要なところは全部ノーリフティングケアを行っています。私も元々現場で介護をしていましたから、腰痛の発生がひどかったり、仕事にぎっくり腰になってしまったりする職員を見てきました。でも、ノーリフティングケアを行うと、基本的にはそういうことが起きることはほぼありません。そして、一番効果があると感じているのは、利用者さんの体の状態の変化が少ないことです。拘縮(こっしゆく) (関節が動かしにくくなった状態) が起きにくかったり、打ち身や皮膚剥離(皮膚の薄皮がめくれること) などのケガのリスクがすごく少なかったり、利用者さんの利益も大きいです。

日常的に、こんな場面でノーリフティングケアは行われています。

ベッドから車いすへ移るとき…床走行リフト

自分の力で起き上がれない方をサポートするアイテム。ハンモックのように体をシートで包み、電動のリフトで持ち上げてベッドから車いすへ移動を行います。リフトの動きはゆっくりで、利用者さんと向き合って声掛けができるので、皆さんリラックスして利用されています。



トイレに行くとき…スタンディングリフト

自分の力で立ち上がれない方をサポートするアイテム。膝・背中・足底をしっかり支えることで安定して立ち上がることができ、安全にトイレに行くことができます。無理のない立ち上がり動作を行うことでリハビリの効果も期待できます。



介護の仕事の先輩へ インタビュー

社会福祉法人 大翔会
特別養護老人ホームGreenガーデン南大分
介護職 守口 菜由子さん
(介護福祉士)



1 介護の仕事に就いた きっかけは何ですか？

中学生のころから福祉や介護の仕事に興味を持っていたので、福祉科のある高校に進学しました。その中で実習があって、短い期間ですが高齢者の方と関わる中で、楽しみややりがいを感じたので、資格を取って介護系の施設で働こうと思いました。

2 実際に介護の仕事に就いて 感じたことを教えてください。

学生の頃は深くは分からなくて、実際働いてみたらやっぱり理想と現実は違うということもありました。高齢者の方に幸せな生活を送っていただけるように支援できることや、人の温かさに触れることができるというのは、学生の頃では分からなかったですが、実際現場にいると実感できる時がたくさんあります。

3 介護の仕事は体がきついイメージ がありますが、ノーリフティングケア を行ってみて実際はどうですか？

もともと介護は“身体的にもきつくて体力がいる仕事”というイメージが自分の中であったんですが、ノーリフティングケアを取り入れることによって、職員の身体的な負担や腰痛も緩和できていると感じます。就職して初めてノーリフティングケアを学んだので、最初はできないことも分からないこともたくさんあったんですが、研修や先輩方からの教えで、日々自分の成長を感じることができます。

4 介護の仕事で特に注意している ことを教えてください。

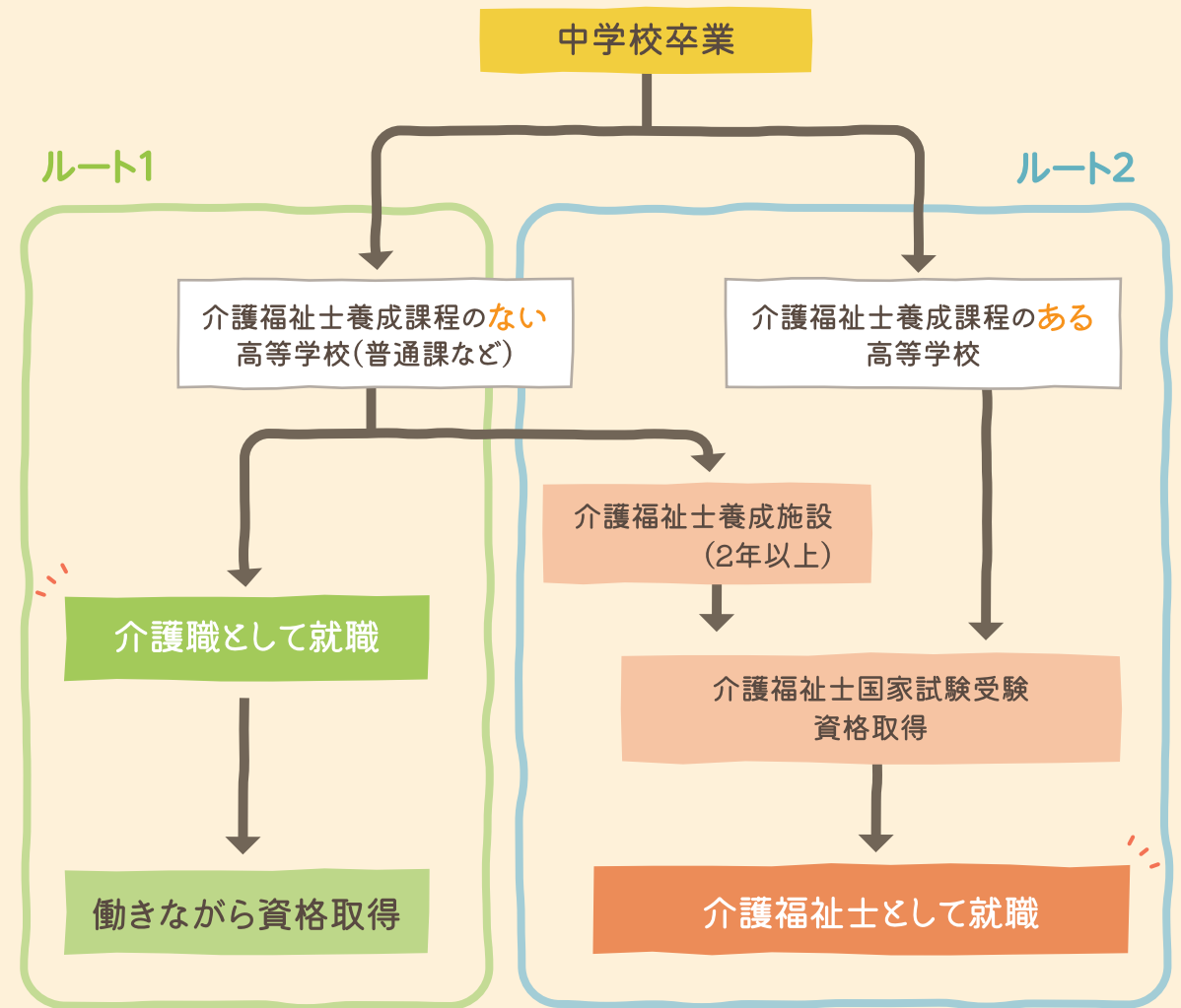
薬の管理は看護師さんが主にしますが、服薬の介助は介護職員が行います。服薬はミスをしてしまうと利用者様の命に係わることもあるので、しっかりと日付や服薬のタイミング（朝食後や昼食後）を確認すること、人が二人以上いればダブルチェックを必ずすることを常に心掛けて、命を預かっているという責任感をもって行っています。

5 介護の仕事のやりがいはどんなところに感じますか？

特別養護老人ホームは、高齢者の中でも介護を必要とする度合いが高い方が多いので、利用者様の体調の変化や急変があったときに、冷静に素早く判断しないといけないことが、最初は大変でした。命を預かっている仕事でもあるので、その責任感や大変なところもたくさんあるんですが、利用者様と一緒に笑ったり、楽しんだりすることができることと、「ありがとう」という感謝の言葉を言ってくれたことにやりがいを感じます。「ありがとう」の言葉は介護職の醍醐味だと思います。

介護の仕事に就くルート

介護の仕事に就くには大きく分けて2つのルートがあります。資格をもっていなくても介護の仕事に就くことはできますが、より良い介護サービスを提供するため、介護の知識や技術を身に付けた人を望む施設や事業所が多くなっています。もちろん、働きながら資格を取得することもでき、従業員の資格取得を応援する制度を設けている施設もあります。
※訪問介護の仕事に就くためには、介護福祉士資格または、実務者研修、介護職員初任者研修を修了している必要があります。



介護の仕事に関する資格

介護職員初任者研修 (130時間)

介護の仕事をするうえで、基本となる知識や技術を習得するための研修。在学中に修了できる高校もあります。

実務者研修 (450時間)

実務経験だけでは習得できない知識や技術を身に付けるための研修。実務者研修の修了と、3年以上の実務経験により、介護福祉士の受験資格が得られます。

介護福祉士 (国家資格)

介護のプロとして認められる唯一の国家資格。専門的な知識と技術をもって、介護が必要な人への介護を行い、またその人や家族に対し、介護に関する指導を行います。

大分県内で介護について学べる学校

介護福祉士養成課程のある高等学校

- 大分南高等学校 福祉科 (県立) **大分市**
- 佐伯豊南高等学校 福祉科 (県立) **佐伯市**
- 大分東明高等学校 商業科 商業・介護福祉コース (私立) **大分市**
- 昭和学園高等学校 福祉科 (私立) **日田市**



介護職員初任者研修を受講できる高等学校

- 中津南高等学校 耶馬溪校 普通科 生活福祉コース (県立) **中津市**
- 楊志館高等学校 福祉科 福祉コース (私立) **大分市**
- 別府溝部学園高等学校 普通科 福祉コース (私立) **別府市**
- 日本文理大学附属高等学校 普通科 ソーシャルコミュニケーションコース (私立) **佐伯市**

介護福祉士養成施設

- 別府溝部学園短期大学 介護福祉学科 (2年制) **別府市**
- 智泉福祉製菓専門学校 介護福祉士学科 (2年制) **大分市**

介護福祉士の資格取得で広がる可能性

介護福祉士とは「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格です。高齢化が進む中、介護の中核を担う介護福祉士の役割はますます重要となります。介護福祉士としての知識や経験は、直接の介護だけでなく様々な分野で活かすことができます。



介護福祉士

介護支援専門員
(ケアマネジャー)

生活相談員

サービス提供
責任者

運営・管理
(リーダー、施設長など)

介護福祉士養成校に通う先輩へインタビュー



智泉福祉製菓専門学校 1年生
池部 美月さん

1 福祉の学校に進学したきっかけは何ですか？

高校2年生の時に国際車いすマラソンと障がい者スポーツ大会の学生ボランティアに参加して、そこで福祉の世界に興味を持ったのがきっかけです。

4 学校の仲間はどんな存在ですか？

助け合いはもちろんあるのですが、専門学校なので、同じ年の人ばかりではないため、今までなかった気づきがあったりします。また、同じ目標や夢を持った仲間と一緒に2年間過ごしているのが、勉強する意欲も高まっています。

2 学校ではどんなことを学んでいますか？

介護の仕事というのは高齢者の方や障がいのある方と深く関わる仕事なので、接し方や介護技術に加えて介護保険制度や、社会保険という世の中の仕組みについても勉強しています。

5 介護の勉強を始めて、より興味を持った点は何ですか？

私は介護というと高齢者の方というイメージだったのですが、障がい者介護という世界も知って、そちらのほうにも興味を持つようになりました。

3 学校生活で苦労したことはありますか？

私は専門学校に来るまで福祉の勉強や介護のことを全く知らなかったの、見るもの聞くものが初めてで最初は驚きがいっぱいでした。高齢者の方とあまりお話したことがなかったので、実習の時は最初、どんなお話をしたらいいだろうという苦労がありました。

6 将来どんな介護福祉士になりたいですか？

利用者さん一人ひとりの生き方や、今まで歩んでこられた人生を理解して、その利用者さんの望む輝きのある人生を送るためのお手伝いができる介護職、介護福祉士になりたいと思っています。

介護福祉士養成校の先生からのメッセージ



智泉福祉製菓専門学校
介護福祉士学科長
和田 亮二 先生

皆さんの中には、介護の仕事はきついか給料が安い仕事だと思っている人はいませんか。本来、人が人を支え合うという魅力の詰まった仕事は介護の仕事なのです。特に最近の福祉の現場には大きな変化の波が訪れています。

ノーリフティングケア、いわゆる抱え上げない介護という技術が世界的なスタンダードとして浸透してきていたり、AI化によって人の手とテクノロジーを融合させる新しいやり方で介護の質を高めていく試みがされています。

介護を必要とする方にとってはより安全で安心なケアが受けられ、介護を仕事とする方にとっては、やりがいはもちろんですが、働きやすい環境づくりが加速度的に進められています。加えて、近年国は積極的に介護職員の給料をアップさせる処遇改善に力を入れています。そして、介護の仕事は多くの専門職の仲間たちがチームとなって人の生活を支えていくという魅力や感動の詰まった場所なのです。そんな世界に皆さんも飛び込んでみませんか。